

とやま まちづくり
市民討議会 2012

～あなたの声を届けませんか～

主催 富山市・公益社団法人富山青年会議所

[作成]

富山市

公益社団法人富山青年会議所
地域ネットワーク創造特別委員会

2012年 9月

目 次

I 事業概要

- 1 本報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
- 2 「とやま まちづくり市民討議会 2012」開催に至る経緯・・・・・・ P3
- 3 「とやま まちづくり市民討議会 2012」開催概要・・・・・・ P3～P8

II 討議結果

1 討議テーマ1:「とやまの魅力発信」

- 1) あなたが思う『とやまの魅力』とは？
- 2) 『とやまの魅力』を発信するにはどうしたらよいでしょうか？

◆ 6月16日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P9～P14

◆ 6月17日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P15～P19

2 討議テーマ2:「まちづくり」

- 1) 『活力あるまち』とは、どんなまちでしょうか？
- 2) 『活力あるまち』にするために私たちに何ができるでしょうか？

◆ 6月16日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P20～P25

◆ 6月17日 各グループのまとめ・投票結果・・・・・・ P26～P31

III アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P32～P43

<参考資料>

- ① 市民討議会 開催案内書・・・・・・・・・・・・・・・・ P44
- ② 富山市 情報提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P45～P65
- ③ 開催風景・・・・・・・・・・・・・・・・ P66～P67
- ④ 新聞 掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・ P68

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所(以下、富山 JC)と富山市が共催で実施した「とやま まちづくり市民討議会 2012」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、富山市に対して施策への反映を求めて提出するものである。

2. 「とやま まちづくり市民討議会 2012」開催に至る経緯

市民の市政参画の手法は数多くあるが、消極的で自主的に物事を発言しようとしなない人々が市政に参画することは極めて少ないのが現状です。多くの一般市民は「まちづくりは行政や市民団体が行うものである」という依存した考え方を持っている一方で、地方自治体においては限られた財源で多くの課題に取り組まなければならないという現状がある。

そのような状況のなか、富山 J C は昨年・一昨年に引き続き、富山市と共催で、市民の行政への参画意識の高揚を図るとともに市民の声を幅広く把握し、行政の施策に反映するための新しい手段として、3 回目の市民討議会の開催に至った。

3. 「とやま まちづくり市民討議会 2012」開催概要

1) 開催日時

2012 年 6 月 16 日(土) 10:00~15:00

2012 年 6 月 17 日(日) 10:00~15:00

2) 開催場所

富山国際会議場 2F 203・204 号

3) 参加者選出方法

住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民 1,000 名にチラシ・開催案内状を送付し、参加希望者の中から抽選で、25 名×2 日間 計 50 名の参加者を決定した。

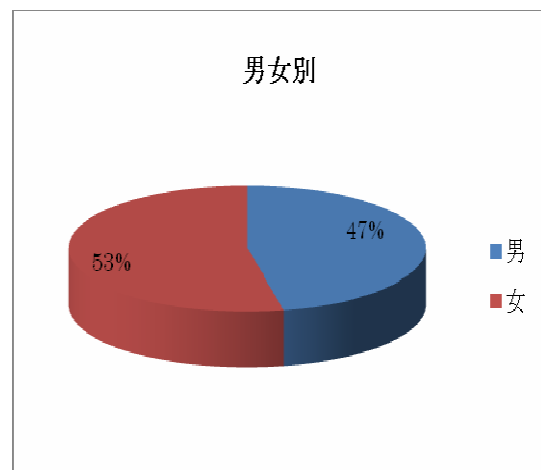
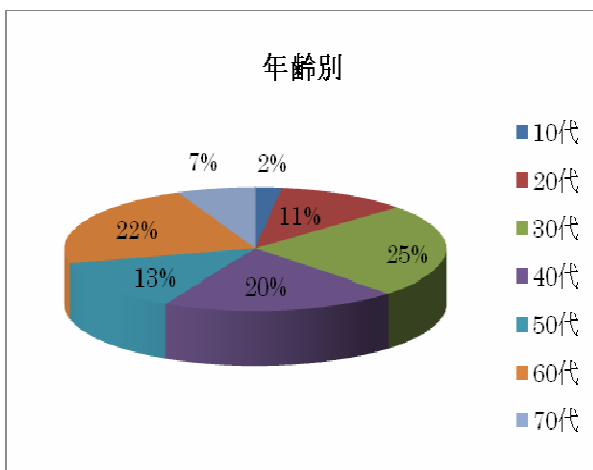
開催 1 週間前から当日にかけて欠席の連絡を受けた 7 名の補充を、落選通知者への電話連絡等で試みるも結果として、16 日は 22 名、17 日は 23 名 計 45 名の参加となった。

* 2010 年度 からの返信数他 実績一覧

	2012 年度 実績		2011 年度 実績		2010 年度 実績	
案内発送数	1,000		1,000		700	
返信数	378	37.80%	368	36.80%	—	
参加可能数	73	7.30%	54	5.40%	45	6.42%
参加定員数	50		50		25	
参加数	45		49		22	
見学数(希望)	7		1		—	
不参加数	298		314		—	

I) 2102 年 参加者内訳

年齢	合計	男	女
10代	1	0	1
20代	5	3	2
30代	11	5	6
40代	9	4	5
50代	6	2	4
60代	10	4	6
70代	3	3	0
80代	0	0	0
合計	45	21	24



II) 2012 年 不参加理由

理由分類	不参加理由	人数
	興味はあるが、諸事情による	145
	興味なし	54
	その他	88
	計	287
	無記入	11

※2012年不参加理由 区分内訳

区分	理由	人数
興味あり	仕事のため	10
	旅行のため	3
	予定があるため	1
	家事・育児・介護のため	6
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	7
	高齢のため	2
	県外在住のため	0
	その他	0
	無記入	116
	計	145
興味なし	仕事のため	0
	旅行のため	0
	予定があるため	2
	家事・育児・介護のため	0
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	0
	高齢のため	1
	県外在住のため	0
	その他	2
	無記入	49
	計	54
その他	仕事のため	8
	旅行のため	3
	予定があるため	6
	家事・育児・介護のため	6
	病気・体調不良・入院・入所・通院・障害があるため	34
	高齢のため	12
	県外在住のため	10
	その他	5
	無記入	4
	計	88

4) 討議テーマ

1 討議テーマ1:「富山の魅力発信」

- ① あなたが思う『とやまの魅力』とは？
- ② 『とやまの魅力』を発信するにはどうしたらよいでしょうか？

2 討議テーマ2:「まちづくり」

- ① 『活力あるまち』とは、どんなまちでしょうか？
- ② 『活力あるまち』にするために私たちに何ができるでしょうか？

5) 討議進行方法

- 1 自己紹介
- 2 係決め
- 3 討議の練習
- 4 情報提供
- 5 討議① 意見抽出・まとめ
- 6 討議② 意見抽出・まとめ
- 7 発表
- 8 投票
- 9 投票結果の発表

6) 当日のタイムスケジュール

時間	所要時間 (分)	内容
9:30~10:00	30	受付
10:00~10:20	20	開会式 (挨拶・趣旨説明・進行説明)
10:20~10:35	15	自己紹介・係決め・討議練習
10:35~10:55	20	討議①情報提供 「とやまの魅力発信」
10:55~11:15	20	討議①討議Ⅰ)意見抽出・まとめ
11:15~11:45	30	討議①討議Ⅱ)意見抽出・まとめ
11:45~12:10	25	討議①発表・投票→投票結果 発表
12:10~13:00	50	昼休 (昼食)
13:00~13:25	25	討議②情報提供 「まちづくり」
13:25~13:50	25	討議②討議Ⅰ)意見抽出・まとめ
13:50~14:25	35	討議②討議Ⅱ)意見抽出・まとめ
14:25~14:45	20	討議②発表・投票
14:45~14:50	5	討議②投票結果 発表・講評
14:50~15:00	10	アンケート・事務連絡・閉会式
15:00		閉会

II 討議結果

開催日毎・テーマ毎の討議結果として、各グループのまとめと投票結果を報告します。

討議テーマ 1：「とやまの魅力発信」

1) あなたが思う『とやまの魅力』とは？

2) 『とやまの魅力』を発信するにはどうしたらよいでしょうか？

6月16日（土）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・水が良い・人の温かさ、おおらかさ・おわら風の盆・芸術文化
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・インターネットなどメディアを通じて発信・全国版のTVの活用・川が目玉を考える・サクラマスを進められないか・売薬さんにチラシを配ってもらう・富山の持っている芸術性を伝えていく・親から子供への伝承
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・水の良さを、松川やいたち川（延命地藏）の散歩道の整備を進めることで伝えていく・川が目玉を作る（例：サクラマスを富山産化して鱒すしを作る）・「おわら風の盆」といった伝統芸術文化などを学校教育で取り上げてもらう・家庭で親が子供に富山の良さを伝えていく・売薬さんに富山の良さを宣伝してもらう

（討議中に出された意見）

- ・人間関係がおおらかでギズギズしていない
- ・高岡の伝統工芸は小学校5・6年、中学校1年生で学んでいる
- ・おわらの魅力について富山市民がもっと理解するべき
- ・大人になって感じる自然の豊かさ・立山・ホタルイカ
- ・観光客へも水の良さを伝えたい
- ・売薬さんの紙風船を利用し、富山を全国にもっと宣伝する
- ・県内の若者のみならず全国の若者にも富山の良さをインターネットで発信する

Bグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・水がおいしくて食が豊富 ・景色がきれい ・住み良い環境
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい山や海を利用して、体験型・食・ショッピングの流れがある富山独自の観光ルートを作る ・富山自慢の山の幸や海の幸を観光客にもっと食べてもらい、口コミで広めてもらう
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・立山の美しさをもっとアピールするため富山独自の何かを作り（アウトレットモール）、体験型・食・ショッピングの流れがある観光地とする

(討議中に出された意見)

- ・立山の美しさ・自然の豊かさ
- ・子育てがしやすい環境
- ・家族との絆が深い
- ・自然災害の少なさ
- ・就職率の良さ
- ・セントラム・ポートラムを利用した観光ルートを作る
- ・海を利用した観光スポットを作る
- ・単発ではなく複合的な富山独自の何かを作る

Cグループ

<p>討議1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がおいしい (海の幸・米・水) ・住み良い県 (物価や土地の値段が安い) ・人柄が良い (おだやか) ・山岳観光 (立山登山など)
<p>討議2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の食材を食べてもらう機会充実 (アンテナショップ・物産展での販売を増やす。商店街との連携イベント) ・広告塔の発掘 (若手の芸能人・地元アイドル) ・民泊 (一般家庭の登録推進・レンタカーなど交通手段の補助)
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山のおいしい食材を食べてもらう ・住み良い県を知ってもらう ・山岳観光の魅力を伝える <li style="text-align: center;">↓ ① 行政直営のレストランやアンテナショップ等の活用 ② 民泊の推進 ③ 広告塔・若手のアイドルの育成 ④ イベントの開催 ⑤ 交通手段 (レンタカーなど) の補助

(討議中に出された意見)

- ・外食産業・スーパーのお惣菜が安くておいしい
- ・道路が広くて走りやすいが車が必需品となっており、運転できない人には不便
- ・癒しをアピール (パワースポット・山岳観光)
- ・もっと富山産の食品を食べてもらう
(県内企業・行政補助の店をアンテナショップとして県外にも進出する)
- ・商店街と連携したイベントの開催

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・食の名産物が多い・災害が少ない・自然が豊かで住環境が良い
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・観光マップを作った路線の作成・マスコット等を使ったアピール
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・全国的に知名度が低いので、トラックなどをラッピングすることで知名度のUPを図る・富山駅周辺の観光マップを作成し、魅力あるお店やスポットを紹介する

(討議中に出された意見)

- ・鮎釣りや立山・祭りなど観光地としては魅力がある
- ・住環境は良い
- ・「鱒ずしマップ」、「名水マップ」を作る
- ・シルバー世代にPRする(食の良さ→健康につながる)
- ・自然観光を堪能できるバスツアーの誘致
- ・観光するには動線が悪いので観光路線を作る

E グループ

討議1) まとめ	内向け) 公共サービスが充実 (子育て・道路・図書館) 外向け) 自然が素晴らしい (環水公園・中島閘門・松川べり)
討議2) まとめ	内向け) 広報をもっと楽しく！ 外向け) 富山のキャッチフレーズを変える！ NHK朝ドラ誘致 教科書に富山の情報をのせる→場所を知ってもらう
全体まとめ	内向け) 公共サービスが充実←広報をもっと楽しくして発信 内外向け) 富山のキャッチコピーを変えて発信！ 外向け) 自然が素晴らしい←NHK朝ドラや教科書を使って発信 悪いところも認識・改善したうえで身近にある富山の魅力も発信する！

(討議中に出された意見)

- ・環水公園 (駅裏にあるのは珍しい)
- ・富岩運河の水が汚いのが欠点
- ・富岩運河→岩瀬浜の船が高いが観光としては良い
- ・松川の整備をもっと進めてほしい
- ・景色が素晴らしいが、PRが出来ていない。富山人にとっては当たり前でもっとPR方法を考えるべき (山・海・ホタルイカ・環水公園など)
- ・「県民SHOW」などテレビの影響はとて大きいので、NHKの朝ドラなどを誘致してほしい
- ・テレビなどを通して富山のキャッチフレーズを覚えてもらう

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	票数
1位	全国的に知名度が低いのでトラックなどをラッピングすることで知名度のUPを図る	17票
2位	立山の美しさをもっとアピールするため富山独自の何かを作り（アウトレットモール）、体験型・食・ショッピングの流れがある観光地とする	14票
3位	自然が素晴らしい←NHK朝ドラや教科書を使って発信	12票
4位	川が目玉を作る（例：サクラマスを富山産化して鱒ずしを作る）	7票
5位	広報をもっと楽しく！	6票
	商店街と連携したイベント	6票
7位	富山駅周辺の観光マップを作成し、魅力あるお店やスポットを紹介する	5票
8位	民泊の推進	4票
9位	水の良さを、松川やいたち川（延命地藏）の散歩道の整備を進めることで伝えていく	3票
	富山のキャッチコピーを変えて発信！	3票

6月17日(日) 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・水(湧水)が魅力・食(米・魚)が魅力・山(どこからでも立山が仰げる)・路面電車(社会的に弱者にも優しい)・道路が整備されていて案内しやすい
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・各自が口コミやネットで発信・観光向けのモデルマップ・ルートの作成・とにかく来県してもらうためのツアーの作成・サイクリングロードの連結・若者の来県のためのファッションの充実
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・富山葉膳+エステ(きれいになる)+自然を楽しむ(山歩き)のモデルツアーを作って、まずは来県を促進する(学割・宿泊学習等) →来県ごとにポイントを付与して、次回の来県につなげる・雨が多い、曇りが多いというマイナス面を逆手にとって、傘・帽子・手袋・レインブーツ・レインコートを作成し、雨・雪の文化を楽しむようなグッズを作る(例:富山をPRしたものを観光客に配布)

(討議中に出された意見)

- ・水が良いと料理が美味しくなる
- ・せっかくのサイクリングロードが途切れている
- ・山が連なっているのが素晴らしく、いつも立山を仰げる
- ・自然の素晴らしさを発見できる道路がたくさんあるのに、満喫するには途切れてしまう
- ・湧水をくむのにお金がかからないことをアピール
- ・観光向けモデルマップがあると良い
- ・富山に滞在する楽しみをもっと作る
- ・近隣の県から宿泊学習に来てもらい、富山の魅力をもっと知ってもらいたい

B グループ

討議 1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みやすさ ・ 食べ物、水がおいしい ・ 海拔 0m～3,000mを一日で体験できる自然
討議 2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山の住民がもっと富山のことをよく知る機会を作る ・ 富山の体験塾開催 ・ 新幹線からのアピール ・ 富山市のキャッチフレーズを再考
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは住民が富山のことを知る機会を！！

(討議中に出された意見)

- ・ L R Tの充実が魅力
- ・ 街なかから雄大な立山が見える景色が素晴らしい
- ・ 公園が少ない (屋根付きで遊べるところがない)
- ・ 災害が少なく安全
- ・ 観光客にまた来たいと思ってもらえるおもてなしの仕方を考えるべき
- ・ 新幹線で富山駅を通過するだけの人にも、インパクトのあるアピールを
- ・ 富山市のHPが分かりにくい
- ・ 富山県の以前のキャッチフレーズ「いい人、いい味、いきいき富山」は良かった

Cグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・住み良い街である ・「鱒ずし」
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・県内ランキングの高いものをアピール ・「鱒ずし」の食べ比べイベント開催 ・パッケージに富山弁の掲載
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のランキングの高いものをアピール ・コミュニティチャンネルの活用（地元市民の情報の共有化）

（討議中に出された意見）

- ・30分で山・海・街に移動ができる
- ・治安が良い
- ・冬道が車で走りやすい
- ・公共施設が充実している
- ・共働きが多い＝女性が働く環境が良い
- ・勤勉な県民性があり、周りの人のフォローが多い
- ・大都市に魅力を感じて若者が出て行ってしまいが、とても住みやすい街
- ・アンテナショップの増設
- ・「ちんどん」を広める（例：アニメちんどん、コスプレちんどん等）
- ・ご当地ヒーローを作る
- ・婦中町のケーブルテレビに「コミュニティチャンネル」があるが、富山市の情報が紹介されていないので紹介してほしい

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等がなく住みやすい ・特産物が豊富 ・自然が豊か
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力を発信するイベントが少ない ・どこかへ行くための交通の便が悪い ・情報が集約されていなく不便なので、もっと集約して活用を
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然の豊かさ」や「特産物の豊富さ」という、富山の良いところをイベントやメディアを使って発信していく ・観光客に対してアンテナショップを設け、公共機関の整備をしていくことで富山をもっとアピールする

(討議中に出された意見)

- ・ファミリーパークなど動物園が楽しめるのは良い
- ・小学生未満の医療費が充実している
- ・季節(四季)を感じることができる
- ・ホテルイカ見学ツアーを組んでほしい
- ・トロッコなど交通機関の料金を下げてほしい
- ・全国版テレビ番組に富山県の天気予報をのせてもらう

Eグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・魚介類がおいしい、豊富 ・自然が豊か(山・水がきれい) ・治安が良い
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・富山駅周辺の商業施設を充実させる(テーマパーク) ・売薬さんにPRしてもらう ・情報誌の中身を充実させる
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・富山に来てもらうために駅周辺の商業施設を充実させ、美味しいものを食べ、自然も見えてもらう

(討議中に出された意見)

- ・若い人が遊ぶ場所が少ない ⇔ 治安が良い
- ・人間性が良い
- ・スーパーに魚が多く並んでいる
- ・地物以外の魚(多種)も食べたい
- ・富山を紹介するパンフレットを増やす(情報が少ない)
- ・ファミリーパークの動物を増やしてほしい

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	雨が多い、曇りが多いというマイナス面を逆手にとって、傘・帽子・手袋・レインブーツ・レインコートを作成し、雨・雪の文化を楽しむようなグッズを作る（例：富山をPRしたものを観光客に配布）	16票
2位	観光客に対してアンテナショップを設け、公共機関の整備をしていき、富山をもっとアピールする	14票
3位	「鱒ずし」食べ比べイベントの開催	11票
4位	富山薬膳+エステ（きれいになる）+自然を楽しむ（山歩き）のモデルツアーを作って、まずは来県を促進する（学割・宿泊学習等）	10票
	まずは住民が富山のことを知る機会を！！	10票
6位	富山駅周辺の商業施設を充実させる（テーマパーク）	6票
	富山の体験塾開催	6票
8位	コミュニティチャンネルの活用	5票
9位	情報が集約されていなく不便なのでもっと集約して活用を	4票
	売薬さんにPRしてもらおう	4票
	情報誌の中身を充実させる	4票

討議テーマ 2:「まちづくり」

1)『活力あるまち』とは、どんなまちでしょうか？

2)『活力あるまち』にするために私たちに何ができるでしょうか？

6月16日(土) 開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・街の中心部に人が集まる魅力あるまちづくり・近所付き合い・コミュニケーションのある街・地域の安心感・信頼感がある街・地域の特性を活かす街・先進医療の充実した地域にする
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣の変化・スポーツで活性化・公共交通を利用するためのひと工夫・年齢とかライフスタイルに合わせた住替え
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・先進医療の充実した地域にすることによって、他の地域や他の国から医療ツアーの受け入れをし、薬都富山の長を生かした医療県として活力のある街づくりを行う・スポーツの振興を市民が後押しして(たくさん応援に行くなど)活力のある街をつくる・安心感や信頼感のある地域コミュニケーションを作り、年齢とかライフスタイルに合わせて住替えることで活力のある街にする・中心市街地にチャレンジショップを開設し、いろいろな商売がチャレンジできる仕組みがあると、人が人を呼ぶので活力が生まれる

(討議中に出された意見)

- ・ものづくりのできる街、職人の集まる街
- ・富山のよさを感じられる街
- ・中心市街地に若者を集める
- ・大きい病院の近くに居住地を変えて、歩いて買い物をし、バスに乗って用事ができるようにしたい
- ・なんでもかんでも行政に頼らない生活
- ・年齢層は関係なくチャレンジできる街
- ・人の良さ、おおらかさをアピールしながら元気を出して生活する

B グループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業に対する助成・支援よりも気軽に入り込めるような対策 ・中心街でお金を使えるまちづくり→インフラの整備 (人口の多い郊外からの集客、公共交通機関・駐車場の拡充)
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「とやま討議会」のような意見交換の場を増やす→情報発信の検討 ・市民全体がまちづくりに対して興味を持つこと、持たせること
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全体の様々な意見を活かして「まちづくり」ができる環境整備が必要

(討議中に出された意見)

- ・葉に携わる人（企業）を支援
- ・動きやすいインフラ整備（歩くための整備も）
- ・「葉都とやま」を印象付ける施設
- ・コミュニケーションが図りやすい街
- ・意見交換ができる場所をつくる
- ・みんなが興味を持つこと、知ること
- ・情報発信をする・知る機会を増やす
- ・仕事をする喜びを知る取り組み

Cグループ

<p>討議1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一体感のある街 ・ いろいろな人の意見が出る街 ・ 魅力があって歩きたくなる街 ・ 誇りを持てる街 ・ 若者や子供が元気！！ ・ 商店・文化施設など多様なものが集まっている街
<p>討議2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの街を知る ・ イベント等を企画・参加(ゴミ拾い・除雪等)→積極的に参加する ・ 元気に挨拶する
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一体感のある街にするために自分たちの街を知る ・ 積極的にイベント等を企画・参加する ・ まず家庭から始める (あいさつ・おでかけ・助け合い)

(討議中に出された意見)

- ・ 地域間での交流がある街
- ・ 商店街の復活
- ・ 地産地消
- ・ 笑顔
- ・ 町内会レベルでボランティアなどの機会をつくり参加する
- ・ 自分から率先して言い出してみる

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共機関の利便性が良い街 ・教育・医療機関の充実 ・多年齢層の交流の機会の提供
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・出歩く機会を増やす ・イベント・行事を増やす
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・出歩く機会を増やすためには、公共機関の利便性を高め(無料パス等) またそれに合わせイベント ・行事を増やし街の活性化へ導く

(討議中に出された意見)

- ・大型店が中心地でない
- ・公共機関の本数が少なく不便
- ・各イベントの催しが少ない
- ・排他的な県民性
- ・コミュニティバスの増加
- ・駅前には以前より活性化してきた
- ・流通の問題
- ・大学・専門学校が少ないため、若い人が県外へ行く
- ・商店街の活気がない
- ・交流場所やサービスの提供
- ・朝市の開催
- ・子供を増やしても公共サービスが低下しないようにする
- ・各自治体・各地区イベントの無料提供

E グループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード(箱もの)からソフト(サービス)へ →年齢によって違う ・[地域のコミュニティ] 人が集まり、人がつながる→活力あるまち
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢層が集まれるイベント・行事を企画・発信・実施する →若者を大いに使う
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・街づくり →ハードからソフトへ (年齢によって違うサービスを) →人が集まり、人がつながる →各年齢層が集まれるイベント (共有)

(討議中に出された意見)

- ・若者たちが燃えるようなきっかけづくりを
- ・若者に任せてもらう、任せるきっかけを作る
- ・富山に戻りたいと思わせるものをつくる
- ・雇用を創出する
- ・買い物が不便
- ・歩いても店がない
- ・町内会が充実していればいい
- ・近くの他人が必要
- ・環水公園でイベントを行う
- ・テレビや広報の活用
- ・住民運動会はきっかけづくりとして大きい
- ・お年寄りにやさしい街

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	街づくり →ハードからソフトへ（年齢によって違うサービスを） →人が集まり、人がつながる →各年齢層が集まれるイベント（共有）	15票
2位	出歩く機会を増やすためには、公共機関の利便性を高め（無料パス等）またそれに合わせイベント・行事を増やし街の活性化へ導く	14票
3位	中心街でお金が使えらるまちづくり→インフラの整備 （人口の多い郊外からの集客・公共交通機関、駐車場の拡充）	11票
4位	先進医療の充実した地域にすることによって、他の地域や他の国から医療ツアーの受け入れをし、薬都富山の特長を生かした医療県として活力のある街づくりを行う	10票
5位	「とやま討議会」のような意見交換の場を増やす→情報発信の検討	8票
6位	街の中心部に人が集まる魅力あるまちづくり	6票
	積極的にイベント等を企画・参加する	6票
8位	イベント・行事を増やす	5票
9位	地場産業に対する助成・支援よりも気軽に入り込めるような対策	4票
	商店・文化施設など多様なものが集まっている街	4票
	出歩く機会を増やす	4票
12位	公共交通を利用するためにひと工夫する	3票
	まず家庭から始める（あいさつ・おでかけ・助け合い）	3票
	多年齢層の交流の機会の提供	3票
	ハード（箱もの）からソフト（サービス）へ →年齢によって違う	3票
	若者を大いに使う	3票

6月17日（日）開催

【各グループのまとめ】

Aグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・イメージの湧く街・人の交流のある街・出掛けたくなる魅力のある街・わかりやすいまちづくり・人が集まる仕組みのある街（街の中に大学がある等）・住んでいる人が安心して住める街
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none">・公共交通の利便性（運賃・乗り継ぎ・路線）・街中を花などで彩る・参加型のイベントに参加してもらう・広報の充実（見てもらうように情報共有する）
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none">・保育園に預けられる基準を見直し、雇用を創出して、人の流れを生み出す・イメージの湧くまちづくり →参加型イベント、花を植える、ランドマークを作る・情報を共有化→広報の充実、いろいろな人を巻き込む・公共交通の利用促進→路線図の充実、目的地までのルートも明確化・人が集まる仕組みのあるまちづくり→わかりやすさ

（討議中に出された意見）

- ・コンパクトにまとまっている街
- ・人が集まる、人が歩いている街
- ・住んでいる人が楽しい街
- ・公共交通の充実している街
- ・出掛けたくなるような魅力ある街
- ・名産・物産がまちのなかで買える街
- ・気軽に出かけられるまち（駐車場のことで悩まない）
- ・若い人がいる街
- ・クローズされた施設の開放やイベントの共有
- ・主体性を持つ仕組みがある街
- ・色々な年齢の人が楽しめるイベントがある街

Bグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らす人が元気でイキイキしている街 ・交流の場を作る →夜も明るい街 ハッピーリタイヤされた方々が力を出せる街
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で気軽に行けるような交流の場を作る 例：イベントを増やす お祭りのアピールをもっとする 農作物を売る場所を増やす
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らす人が元気でイキイキしているには、交流の場が必要！！

(討議中に出された意見)

- ・年齢の違う方々との交流の場
- ・心身ともに元気であるためには働く場が必要
- ・年配の方ができるボランティア的なことの創出（子育て世代にできないことをカバー）
- ・人のため、地域のため
- ・店が閉まるのが早い
- ・農作業を通じての交流の場
- ・県内×県外のスポーツ交流の場
- ・イベントに集まるための移動手段の検討
- ・マニアックな趣味の集まりを街なかでイベント
- ・イベントを増やす（音楽・マラソン・ちんどんコンクール）

Cグループ

<p>討議1) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な人がたくさんいる！！ 若者・子供・お年寄りが笑顔である ・人が集まるイベントがたくさんある 親子・幅広く参加できるイベント 見るだけではなく参加型 ・みんなの意見が聞ける、話せる、共有できる
<p>討議2) まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・L R Tの活用 大病院に行ける 市民が乗りやすい環境づくり ・まずは「知ること」を始める 子供・学生の授業に取り入れ、大人とともに勉強する ・まちづくりの取り組みをもっとアピールし市民が参加できるように！ (取り組みを知らない)
<p>全体まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは「とやま」を知ること始める →富山市の広報で市民に市政の取り組みをアピール ・L R Tの活用 →人が集まるところに路線を引き、“とやまのシンボル”を制作

(討議中に出された意見)

- ・世代ごとの市民討議会があったら面白い
- ・人が行きたくなるイベントがある
- ・人を呼び込める場があること
- ・住民同士の結びつきがあり、一体感がある
- ・利便性が高い施設がある
- ・みんなが集まるシンボルを作る
- ・市の政策をアピールして活用する
- ・知らない情報が多い
- ・合併した町村を平等に
- ・街なかに電飾をつける
- ・Uターン結婚

Dグループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が自然に集まる街、かつ高齢者が安心して住める街
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を安心して産み、育てることができる環境づくり ・町内のコミュニケーション、積極的な参加 ・“あいさつ”の重要性、コミュニケーションは“あいさつ”から
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を安心して産み、育てることができる環境づくり (こども園の拡充・各町内の公民館の有効利用) ・地域(町内)行事の積極的な参加 行事に対して市から補助金をいただく 子供からお年寄りまですべての人が情報を共有できる場 ・市から各町内会に対して“あいさつ運動”を提案してもらう

(討議中に出された意見)

- ・繁華街の活性化
- ・安心して暮らせる治安がよい街
- ・人々の顔が見える街
- ・交通の利便性が重要
- ・親子の関係づくり
- ・積極的に市民討議会を開催
- ・近所付き合いを大切にする(公民館の有効活用)
- ・病気の子供を預ける場所がほしい
- ・子供を産む環境を充実させる
- ・孫の世代と他の世代が集まる場を作る

E グループ

討議1) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に利便性がよい街 ・そこにしかない施設 ・イベント・祭り ・コミュニケーションがとれている街
討議2) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや祭りなどの行事に積極的に参加する ・コミュニケーションをとるために積極的にあいさつする ・ブログ・F B (フェイスブック) で発信する
全体まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人のつながりを自ら積極的にとる

(討議中に出された意見)

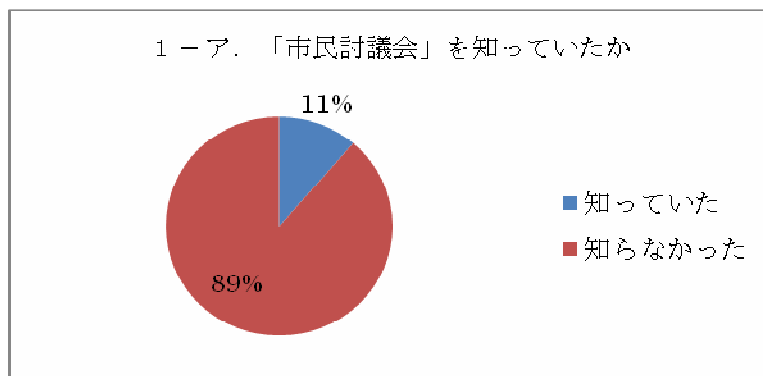
- ・商店街が賑わっていない
- ・娯楽施設
- ・商業施設がない
- ・バス・地鉄料金が低い
- ・交通が不便
- ・市民討議会の回数を増やして参加する
- ・町内行事に積極的に参加する
- ・あいさつをする

【投票結果】

順位	まとめ（投票対象）	投票数
1位	LRTの活用 →人が集まるところに路線を引き、“とやまのシンボル”を制作する	16票
2位	保育園に預けられる基準を見直し、雇用を創出して、人の流れを生み出す	11票
3位	子供を安心して産み、育てることができる環境づくり (こども園の拡充・各町内の公民館の有効利用)	10票
4位	公共交通の利用促進→路線図の充実、目的地までのルートも明確化	7票
5位	イメージの湧くまちづくり →参加型イベント、花を植える、ランドマークを作る	6票
6位	人と人のつながりを自ら積極的にとる	6票
7位	人が集まる仕組みのあるまちづくり→わかりやすさ	5票
	“あいさつ”の重要性、コミュニケーションは“あいさつ”から	5票
9位	身近で気軽に行けるような交流の場を作る 例：イベントを増やす お祭りのアピールをもっとする 農作物を売る場所を増やす	4票
10位	人が集まるイベントをたくさん行う 親子・幅広く参加できるイベント 見るだけではなく参加型のイベント	4票
11位	まずは「知ること」を始める 子供・学生の授業に取り入れ、大人とともに勉強する	3票

Ⅲ 参加者アンケート結果

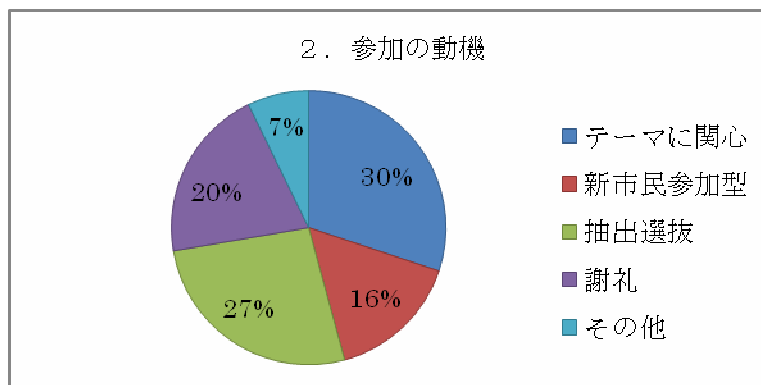
1. (ア) 案内が来た時点で、「市民討議会」をご存知でしたか？



(イ) 知っていた方は、何でご存知でしたか？

マスコミを通して	2
当討議会のチラシを見て	1
行政の広報で	2
その他の理由	1 (ニュースで見たような気がする)

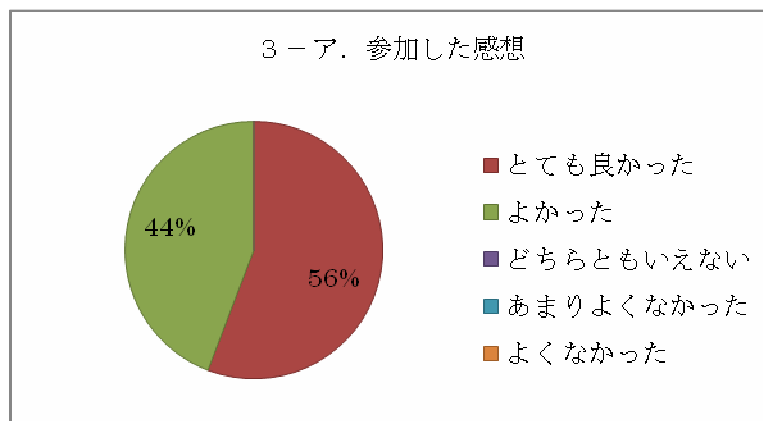
2. 参加動機についてお聞かせください。(複数回答可)



【その他の意見】

- ・再生エネルギー、スマートグリッドに感心があるから。
- ・どういった取り組みをしているのか知りたかったから。
- ・自分の為になると思ったから。
- ・特に予定がなかったから。
- ・こんな機会はめったにないし、興味を持った為。
- ・市民の一員として、市政の行事に参加してみたかったから。
- ・市民討議会そのものがどんな活動なのか。また、内容・人の話・意見を聞いてみたかったので。
- ・第二の故郷として街の活性化に興味があった。
- ・今後の「まちづくり」に少しでも参考になればと思いました。

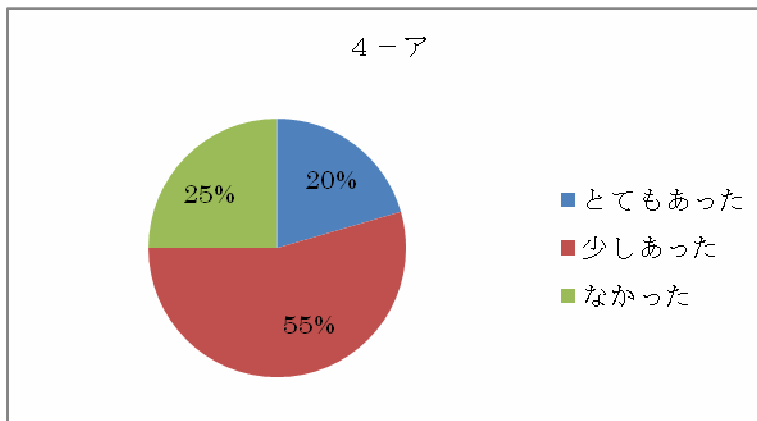
3. (ア) 参加された感想をお聞かせください。



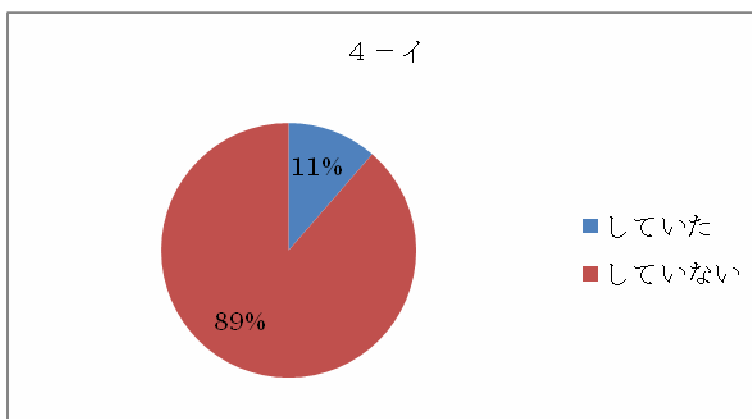
(イ) (ア) で選ばれた理由をお聞かせください。

- ・もっと堅苦しいものかと思ったが皆で意見交換ができ、考えの幅が広がったから。
- ・幅広い世代の方と交流、意見交換ができた。まちづくりに対しての皆さんの普通の意見が聞けた。
- ・なかなか一般市民として自分の思うことを言える機会がなかったが、自分がまちづくりに対しての意見を言えたので、参加できてよかった。
- ・市民参加として富山を真剣に考える機会を得る事ができ、自分自身もわずかながら成長できました。
- ・結果だけでなく、人の考えを聞く事で自分の思いと違っていても“なるほど”と思えた事。
- ・なかなか市民同士で出会う機会、意見を交換しあう機会が無いため。
- ・いろんな意見を聞いたりさせてもらったり、自分の意見を言ったりすることができ、とても有意義な時間をもたせてもらった。
- ・自分とは違う年代の方々の意見を聞いてよかった。自分に足りないものが少なからず分かった。
- ・いろいろな年代の方に意見を聞いて思うことは、同じ自分の住む町を大切にとの思いが伝わってきました。まちづくりをゆっくり考えることができました。
- ・いろんな世代、立場の方の意見を聞くことができた。まちづくりについて考える機会ができた。
- ・楽しく意見を言えた。他の人の考えを聞いてみんな同じようなことを考えているのだとわかった。
- ・富山市のことが前より身近になり知ることができた。前向きな討議会になったから。
- ・自分の意見を自由に言えた。飾る必要がなかった。
- ・日常思っていた事の見聞交換及び情報を得られた。
- ・色々な人の意見を聞いて、自分の考えも発表する機会が持てたので有意義だった。
- ・年齢・性別問わない方々と意見交換を行うことができたから。
- ・普段、富山について考えることがないので今日はとても貴重な体験をさせて頂きました。
- ・割とフランクに話せたから（J Cのリードがよかった）。
- ・日頃自分が思っていたまちのあり方について、様々な意見を聞きつつ言えた。
- ・今まで「とやま」について余り考えることがなかったが、それが出来たので。

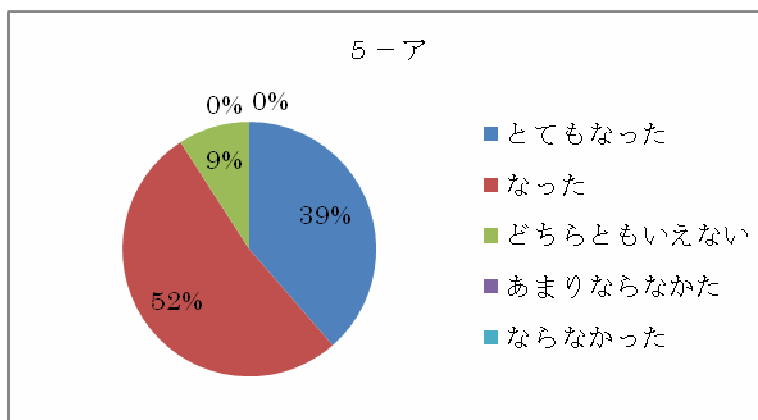
4. (ア) この討議会に参加する前、「まちづくり」に対して興味がありましたか？



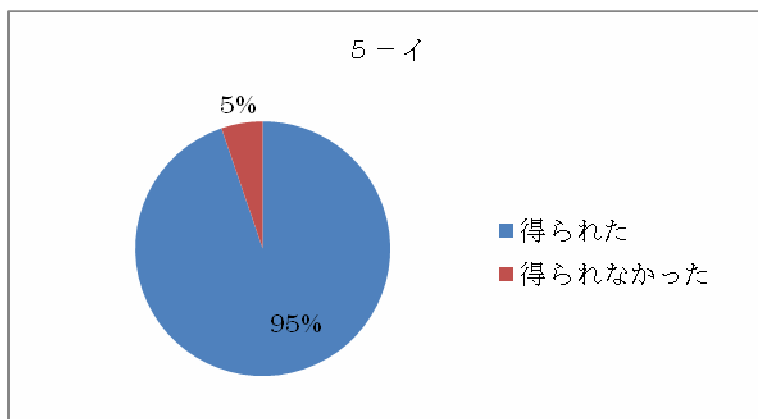
(イ) この討議会に参加する前に「まちづくり」に関わる活動をされていましたか？



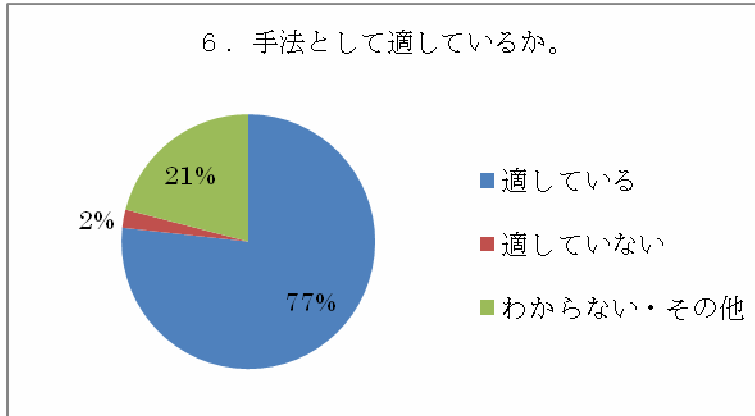
5. (ア) この討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？



(イ) この討議会に参加して「まちづくり」に参加しているという実感を得られましたか？

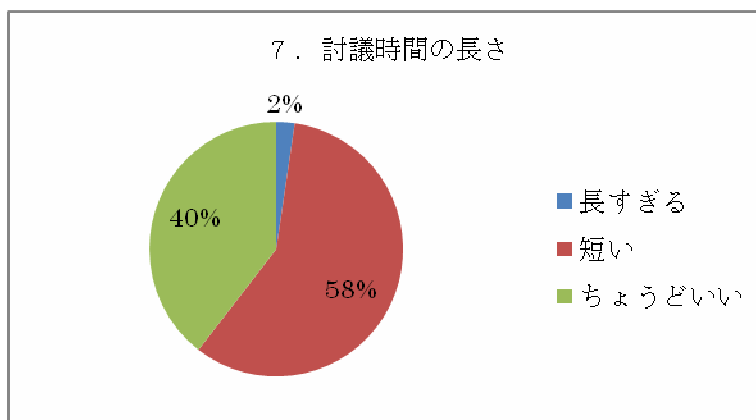


6. この討議会は市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？
また意見があればお聞かせください。

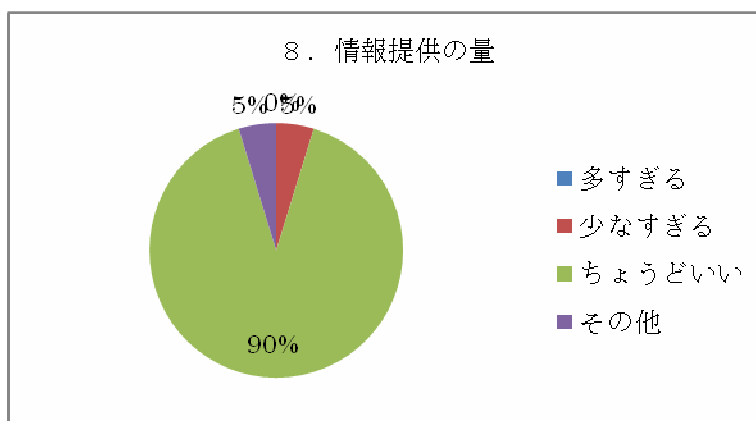


【意見】

- ・最初はこういったことをするのもお金・時間もかかるとは思いますが、もっと沢山行ってもらえたら嬉しいです。
 - ・回数を増やす。場所をもう少しローカルにするなどがあっても良いかと思えます。
 - ・回数を増やしたほうが良いと思う。ただ、謝礼目当ての人でなく、本気でまちづくりを考える人が集まればよい。
 - ・投票結果のみにこだわらず、他数の意見について活かしていただきたい。
 - ・討議会の内容がきちんと行政に伝わるのかどうか分からない。
 - ・世代別に市民討議会を開いても、また違った意見が出て良いと思う。
 - ・市役所の方も参加されて適切な意見等をしてもらったりしたから。
 - ・最適かどうかは分からないが有効だと思う。行政は大いに参考にしてもらいたい。
 - ・この討議内容がどのように行政に反映されたか市民に大々的にアピールして欲しい。
 - ・これからも増やしていかれたら良いと感じました。
 - ・自由に発言できるので良いと思う。（気軽に意見交換が出来る。）
 - ・この場で集約した意見を少数派も含めて反映して頂きたい。また、集約後の結果なども市民に対して発信してほしいが、ただ一方的に知らせるのではなく、知るようにしむけるための施策も実行し、それに対する意見もさらに刈り取るようにして頂きたいです。
 - ・これからも続けた方がよいと思う。
 - ・このような場があることをもっと発信してほしいし、また機会を増やしてほしい。
 - ・結果を見なければ分からない。広報でチェックします。
 - ・行政がどれほど活用しようとしているか見えてこない。
 - ・一手法としてはよいと思いますが、他の方法とあわせて伝えていただければと思います。
7. 討議の時間についてお聞かせください。



8. 情報提供の量についてお聞かせください。

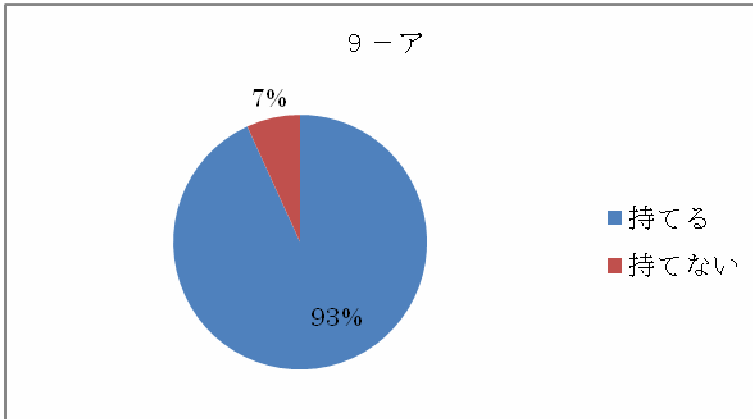


【意見】

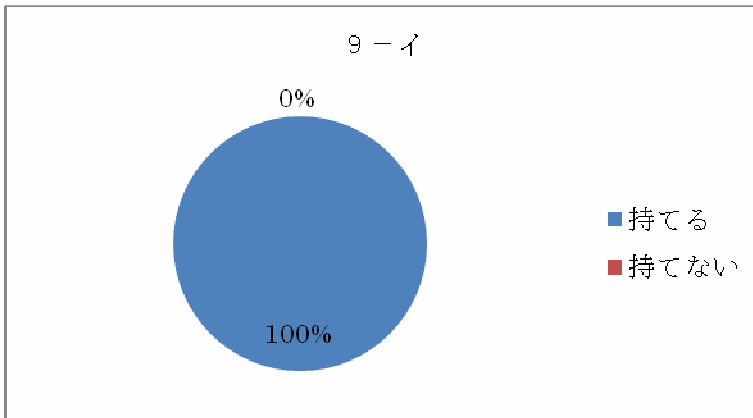
- ・ 討議の内容を絞って一つの内容についてもっと時間をかけてまとめが出来た方が良かったと思った。
- ・ 討議会以外でも情報を気軽に得られる機会が多ければ嬉しいです。
- ・ 先にパワーポイントの資料をもらっていたのでわかりやすかった。
- ・ いろんな情報をもう少し討議できればもっと良かったと思う。
- ・ 広く浅くで、よくわからなかった
- ・ 「多すぎる」に近いが、ちょうど良いです。
- ・ 難しすぎる（コンパクトシティ戦略など）簡単なパワーポイントを！
- ・ 市がどういうことをしているのかの資料が頂けたこと、発表時間は資料と一緒に内容なのでもう少し短くて良い。
- ・ 開示できるものはもっと開示してほしい（例・プロモーションの進歩・データ等）
- ・ 討議テーマの情報としてはズレていると思われる内容に感じた。

9. 討議テーマについてお聞かせください。

(ア) 討議1について「興味を持てるテーマでしたか？」



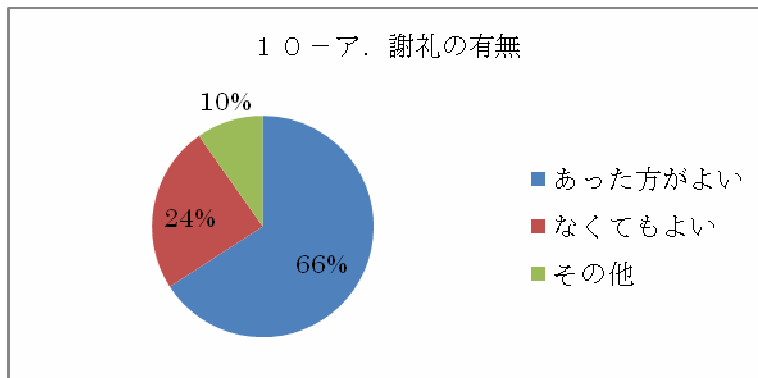
(イ) 討議2について「興味を持てるテーマでしたか？」



(ウ) 話し合ってみたいテーマがあれば、ご記入ください。

- ・ 医療・介護・福祉・育児・雇用・教育
- ・ ゴミ問題・町内役員の長期化
 - ※何期か努めると表彰がもらえるのか？ 長ければいいというものではない。
- ・ 再生エネルギー・活断層（呉羽山断層）
- ・ 今回の投票結果で上位のものについて深く討議してはどうかと思った。
- ・ LRT など交通網について。
- ・ 高齢対策、福祉対策等の討論
- ・ 富山のイメージについて。的を絞ったテーマもあれば良い。
- ・ より具体的なテーマが面白いと思います。シンボルなど。
- ・ 地域ごとの交換会もあれば良いと思いました。
- ・ 子供が住みやすい環境について
- ・ 人間力の育成・価値感・市民意識の変革について

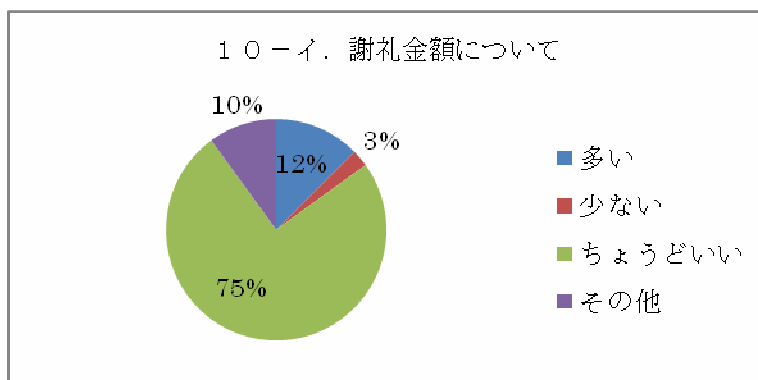
10. (ア) 謝礼についてお聞かせください。



【その他の意見】

- ・多分なければ来なかったと思うし、口コミで良さが広がると思うから。
- ・参加するきっかけになる。
- ・車代（交通費）という名目の方が抵抗なくもらえる。
- ・謝礼無しで行って見たらどうか。なんとも言えないです。
- ・駐車代金は出してほしかった。
- ・個人的には無くてもよいがそれに食いついて興味を持って参加し、良かったと感じる方もいると思う。
- ・出席の責任を感じますから。

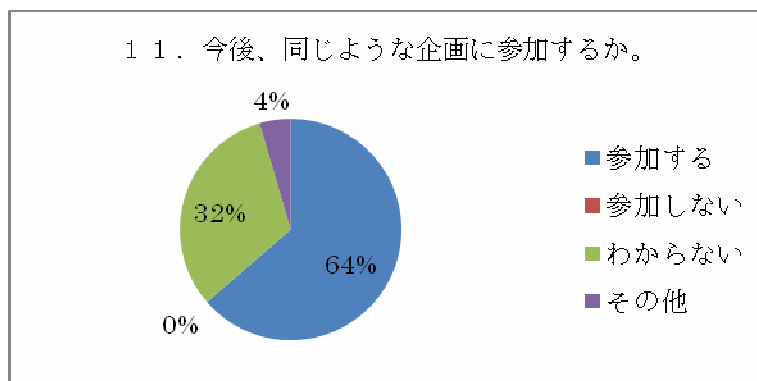
(イ) 謝礼金額についてお聞かせください。



【その他の意見】

- ・昼食付きでこの額はすごいと思うが、逆にそこに宣伝効果があると思う。
- ・現金でなくてもよい。
- ・頑張らないと、と感じる額です。
- ・なくてもよい。市民が参加でき、行政に声が届けばそれでOK。
- ・実費でも。

11. 以後、同じような企画の参加要請があった場合、参加しますか？



【その他の理由】

- ・ 討議するテーマによる。
- ・ 楽しい
- ・ 日があれば参加してみたい。
- ・ 色々役員をしているので日程が合えば。
- ・ 日ごろ思っていることを出す場は必要だし、いろんな年代の方とコミュニケーションをとったりできるのは貴重な体験なので。
- ・ テーマによって決定する。

12. 本日の討議会を通して感じた事やご意見等をご自由にご記入ください。

- ・暮らしていく上で思うことは皆同じなのだと思えた。人が集まって何かを良くしていこうという行いは大切だと思うので次回からも続けてください。
- ・この討議のことについて、もっと広く知られるようにした方が良いと思う。
- ・参加する前はあまり興味がありませんでしたが、参加してみなさんの考えも聞けて勉強になりました。スタッフのみなさんもお疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・テーマに対して不勉強であった。もし、次回以降このような事に出る機会があればもっと勉強して参加したい。
- ・十分に話をして楽しかった。
- ・この討議会がどのように活かされる予定があるか、また活かされたのかを参加者に通知いただけるとうれしい。
- ・見学自由と聞いていましたが扉を閉めてしまうとなかなか入りづらいのではないかと。実際、見学者の方は数名しかいなかったような気がします。今日出た意見が少しでも行政に伝わればと思います。ありがとうございました。
- ・自分が思っていたよりも様々な考えの方がおられて非常に良い勉強になりました。このような討議の場がもっと増えれば市民同士の結びつきが強まって良いと思います。
- ・富山市でも山間地もあるのでその場所をどう考えているのか聞いてみたい。
- ・読み原稿を作成する時間が欲しかったです。
- ・普段聞くことのない意見を聞くことができ貴重な体験となった。
- ・楽しかった。富山のコミュニティチャンネルを他のケーブルテレビでも見れるようにしてほしい。
- ・駐車料金を無料にできないか？
- ・無茶苦茶な人がいた。びっくり。
- ・初めてで楽しかった。
- ・市の未来？構図が良かった。この意見をどのように取り上げられるのか、取り上げてもらえるのか今後の広報が楽しみです。
- ・住みやすいまちづくりに今まで意識がなかったと思います。これを機会にもっと活力のあるまちづくりに参画していきたいと思いました。
- ・市の取組や行なっている事で知らないことが多かった。もっと分かりやすく住民に発信していただければもっと富山に興味を持つと思う。
- ・PDCAをうまく回してより良いまちづくりになるよう市民をうまく巻き込んで行ってほしいです。
- ・メンバーに恵まれ楽しく過ごさせて頂きました。
- ・問題点から課題までの時間がほしかった。
- ・自分が普段感じている事を話し合えただけではなく、他の方が感じている意見も聞けてとても参考になりました。
- ・違う世代・違う経験をされてきた方の意見を聞くことが良かったです。

- ・一般市民の意見が伝えられる場所が無いので今後も続けていってほしい。
- ・参加してみなさんの考えを聞くことができよかったです。メンバーに恵まれた。
- ・自分たちが住む街だから出来るだけ快適な所にすべくこれからも努力したい。全国一が沢山有るけれど、それに甘んじてはいけないので、友人・知人に富山の良さを今後共PRしたい。
- ・大変有意義な時間でした。本日出た意見は市の関係者に十分伝えて市政に反映してほしい。
(討議会の開催を目的にしないで手段にしてほしい。)
- ・初めての事でドキドキしながら参加させて頂きましたが5人という少人数で自由な発信ができて良かったと思います。これからも多くの人に参加できる様な方向で行って頂けたらと思います。
- ・もう少し話し合う時間があれば良かったと思います。
- ・このような場に参加させていただき感謝します。もう少し時間を取ってより意見交換ができればと思います。
- ・討議2について、思ったより身近なレベルのことで話し合いが終わってしまったので、もっと個人レベルではなくて、市レベルでやってほしいことを話し合いたかった。
(頂いた資料内容と連携していなかった)
- ・良いメンバーでした。(E組)
- ・年代や生活環境の違った人達と意見を交わす事で共感があったり、新しい見方ができたりと勉強になりました。自分の意見も言えて良かったです。

<参考資料> ①市民討議会 開催案内書

平成24年 5月 吉日

各 位

富山市長 森 雅志

(社) 富山青年会議所
理事長 石崎 大善

「とやま まちづくり市民討議会 2012」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と(社)富山青年会議所の共催により、「とやま まちづくり市民討議会 2012」を開催いたします。

この市民討議会は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて討議していただき、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年の討議テーマは「とやまの魅力発信」と「まちづくり」です。

皆様には、同封しましたパンフレットをご覧ください、是非ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1,000名の皆様に送付させていただいております。

（お問合せ先）

富山市役所商業労政課

TEL 076-443-2070

（社）富山青年会議所

TEL 076-433-3334

<参考資料> ②富山市 情報提供資料



シティブロモーションとは？

立山あおぐ特等席。富山市

シティブロモーションとは？

「まちを宣伝する、売り込む」こと

まちの認知度とイメージを高めるための
情報を戦略的に発信すること

「暮らしたいまち」、「訪れたいまち」に
なるための様々な取り組み

富山市について

立山あおく特等席。富山市

- ・ 県のほぼ中央から南東部一帯に広がり、富山湾（水深1,000m）から3,000mの立山連峰まで多様な顔を持つ都市。
- ・ 古くは前田藩の城下町で、富山売薬などの独自の産業や北前船による物資交流で栄えた。
- ・ 現在は、北陸地方最大の工業都市。平成17年に旧富山市と周辺6町村が合併して、新富山市となった。
- ・ 面積 東西60.7km、南北43.8km 1,241.85km²
- ・ 人口 421,953人、世帯数 159,151世帯
（平成22年国勢調査〈確報値〉）



富山とは、どんなまちか・・・

立山あおく特等席。富山市

①すみやすさに関するデータ

住居：持ち家率【1位：県】H22、住宅延べ面積【1位：県】H20

家計：消費支出【6位：県庁所在地】H22

安全：火災発生件数の少なさ【1位：県】H22

資本：道路整備率【1位：県】H21

福祉：生活保護の少なさ【1位：県】、保育所待機児童数【ゼロ】

（国勢調査、住宅・土地統計調査、家計調査、学校基本調査 ほか）

②労働・産業に関するデータ

・ 失業率の低さ【4位：県】H23

・ 正規雇用率【1位：県】H19

・ 共働き率【3位：県】H17

・ 一人あたりの医薬品生産額【1位：県】H21

・ 平均往復通勤時間52分（参考：東京88分、大阪79分、愛知68分）H18

（就業構造基本調査、社会生活基本調査、国勢調査、薬事工業生産統計調査 ほか）

シティプロモーションの必要性

(H20シティプロモーション懇談会より)

立山あおく特等路。富山市

富山市民は、現在の富山市での生活について、概ね満足していると思われる。そのため、交流人口や定住人口の増加、及び、そのための積極的な宣伝広報の必要性をあまり感じていない。



しかし、**少子高齢化社会の到来**による人口減少、ならびに東海北陸自動車道の全線開通や4年後の北陸新幹線開業に伴う**ストロー現象の激化**による経済力の低下については、危機感を持って対処しなければならない。



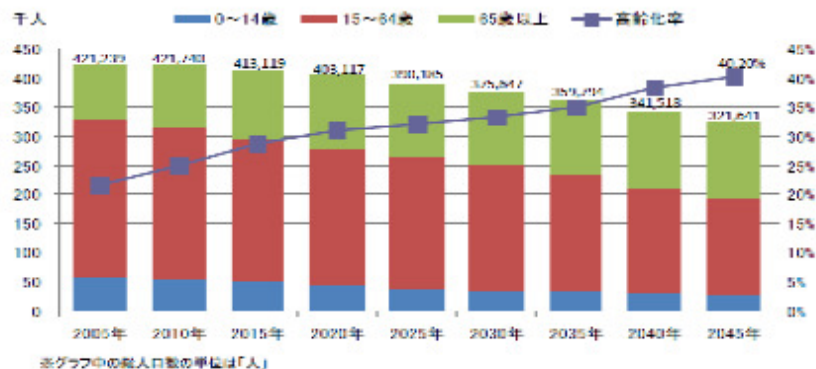
このことから、市内外への積極的なシティプロモーションの推進が必要である。



将来人口推計調査(H22年12月実施)

立山あおく特等路。富山市

総人口の推計結果
(年齢3区分人口と高齢化率)



・5年ごとの推計では、2010年をピークとして人口が減少していき、2045年の人口は現在と比較し約10万人減、高齢化率(65歳以上の割合)は40%超となると見込まれています。

人口減少により想定されるデメリット

立山あおく特等路。富山市

【経済活動の停滞】

市としての魅力が低下することにより、観光・コンベンション・商用・ショッピング等の交流人口の減少に伴い、**地域の活力が低下する。**

【若者の流出】

魅力ある企業の転出による雇用機会の減少に伴い、若者の定着率の低下につながり、**人口減少に拍車がかかる。**

【人口規模の縮小と公共サービスの低下】

賑わいの感じられない街となるばかりか、人口減少に伴う税収の低下により、**公共サービスの維持向上が困難になる。**

【市民意識の低下】

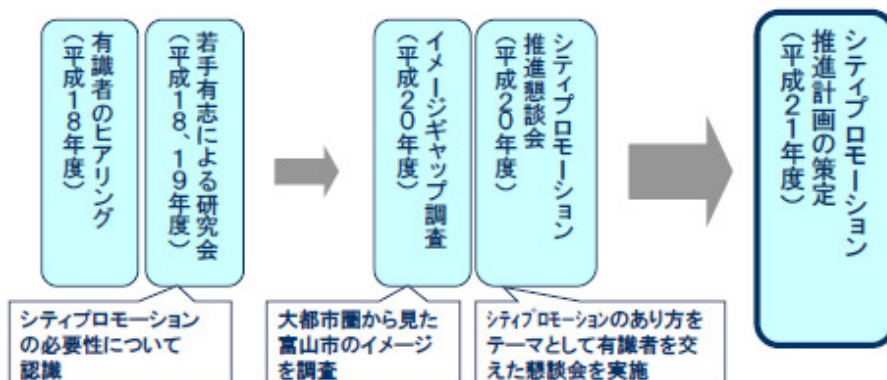
市民一人ひとりが住みよいまちとしての**愛着や誇りが持てなくなる。**

選ばれるまちづくり事業について

立山あおく特等路。富山市

選ばれるまちづくり事業(平成18年度～)

富山市の新たな魅力を創出・発信することで、本市が人々から訪れたいまち、暮らしたいまちとして選ばれるまちとなることを目指すもの。その取り組みの一環として、平成20年度より「シティプロモーション事業」を開始し、平成21年度には「シティプロモーション推進計画」を策定。



大都市圏住民“認知度”ランキング

(富山市イメージギャップ調査 H20.5)

立山あおく特等路。富山市

大都市圏でのランキング

1. ホタルイカ
2. ます寿し
3. 山岳観光
4. 配置薬
5. 寒ブリ
6. ベニズワイガニ
7. 北陸観光の拠点
8. 昆布じめ
9. シロエビ
9. 海の幸の飲食店
12. おわら
14. かまぼこ
19. 持ち家率
33. チンドン

県内でのランキング

1. ホタルイカ
1. ます寿し
1. 寒ブリ
4. かまぼこ
5. シロエビ
6. チンドン
7. 昆布じめ
8. おわら
9. 持ち家率
10. 配置薬
11. 海の幸の飲食店
13. ベニズワイガニ
15. 山岳観光
16. 北陸観光の拠点

本市の代表的な3つのイメージ

(シティプロモーション推進計画より)



食

自然

くすり

“戦略的”に情報を発信！

富山市の認知度の向上！！

全国への情報発信①

立山あおく特等路。富山市

●シティプロモーション全国広告事業

幅広い層をターゲットとする全国規模の雑誌等に、本市のまちづくりや食、自然、くすりなどの魅力をテーマとした「富山市」特集を掲載するもの。

ブランド力のある全国規模の雑誌に本市のPR記事を掲載することで、読者だけでなく、他のメディアや旅行会社への波及効果を期待。

<掲載雑誌>

CREA(文藝春秋発行、発行部数約90,000部)

CREAトラベラー(文藝春秋発行、発行部数約35,000部)



人気リゾートで新しい美食体験を——
こんなスタイリッシュな空間で
薬膳を満喫できるのは、富山だけ!

富山県産の新鮮な食材をふんだんに取り入れた、健康と美容に優れた薬膳料理を、最新の設備と一流のサービスで提供しています。



新たなご当地グルメ・ブランドも誕生

「富山やくぜん」に大注目!

富山県産の新鮮な食材をふんだんに取り入れた、健康と美容に優れた薬膳料理を、最新の設備と一流のサービスで提供しています。



CREA Traveller 2012 springより

全国への情報発信②

立山あおく特等席。富山市

●「山ガール」富山市PR事業

首都圏をはじめ県内外において、「山ガール」と呼ばれる若い女性や山岳・アウトドアに関心のある層などを中心に広く、「立山あおく特等席。富山市」、「山を楽しむベースキャンプシティ」としての本市の魅力を各種メディアを通じてPRするもの。(H24夏頃を予定)



JR品川駅及び首都圏のJR主要駅に設置されている「J・ADビジョン」への掲出

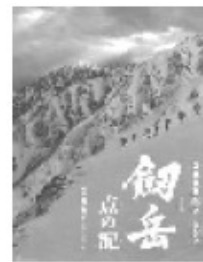


全国への情報発信③

立山あおく特等席。富山市

●富山市情報全国発信事業

立山の眺望をはじめとする風光明媚な富山市の風景、市内電車環状線など特色ある施策、様々な特産品など本市の魅力を全国ネットのテレビ紀行番組を通して情報発信するもの。



- ・平成19年度 テレビアニメ「サザエさん」のオープニング
- ・平成20年度 首都圏におけるラジオ特別番組など
- ・平成21年度 映画「剣岳 点の記」とタイアップし、映画館でのコマーシャル及びプレゼントキャンペーン
- ・平成22年度 テレビ紀行番組「遠くへ行きたい」による本市の紹介
- ・平成23年度 テレビ番組「とやま観光開発事業団」による本市の紹介



首都圏と連携した情報発信

立山あおく特等席。富山市

●丸の内朝大学招へい事業

東京の丸の内において開催されている「丸の内朝大学」の講座と連携し、本市の地域振興をテーマとした座学や実地活動を通じた人材育成等を実践することで、地域活性化を図るとともに、本市に対する首都圏の関心を喚起するもの。

※H24夏学期(7月～9月)に実施



丸の内
朝大学

my朝を、たのしもう

隣接する自治体（南砺市・立山町）と連携して事業を実施！！



丸の内朝大学とは→

東京の丸の内を中心に通勤時間帯前に開催されている早朝講座。首都圏のトップビジネスマンをはじめとした多様なプロフェッショナルが参加することもあり、インターネットやマスメディアにおいてその取り組みが注目を集めている。

シティプロモーション認定事業①

立山あおく特等席。富山市

●シティプロモーション認定事業

事業者や市民団体等によるシティプロモーションを後押しするため、平成22年度より「シティプロモーション認定事業」を開始！

他県のイベントで
富山市をPR！

①イベント等出展事業

大都市圏などで開催されるイベントや常設展示場などに、富山市のイメージの定着や向上、交流・定住人口の拡大を目的として、企業や団体などが出展する事業を支援します。

包装紙で
富山市をPR！

②包装紙等「富山」標記事業

企業、団体などが使用する包装紙などに、「富山」という言葉や、富山市のキャッチフレーズ「立山あおく特等席。富山市」などを標記する事業を支援します。

立山あおく特等席。富山市

情報誌などで
富山市をPR！

③県外への情報発信事業

市民、企業、団体などが県外の情報誌へ新たに富山のPR記事を掲載するなど、県外へ情報を発信したり、富山市を訪れた人に対して情報を発信したりする取り組みを支援します。



シティプロモーション認定事業②

立山あおく特等席。富山市



立山あおく特等席。富山市

和菓子のパッケージやお土産品の袋に
『立山あおく特等席。富山市』を入れてプロモーション！

首都圏でのプロモーション

立山あおく特等席。富山市

●東京都内の銭湯でのPR事業<ホットして富山市>

銭湯の湯船の背景に「立山連峰」を描き、富山市をイメージできるポスターの掲出や物産品の展示・販売などを通して富山ブランドのPRを推進する。(平成22年度5ヶ所、平成23年度5ヶ所)



富士山が……



立山に！ (with ポートラム)

OH22設置(5箇所)	OH23追加(5箇所)
・荒川区西尾久 仙石湯(廃業)	・練馬区北町 北町浴場
・杉並区和泉 大黒湯	・豊島区北大塚 千代田湯
・墨田区押上 第二香藤湯	・江東区亀戸 富山湯
・渋谷区富ヶ谷 八幡祐	・足立区千住柳 ニコニコ湯
・江戸川区平井 吉野屋	・品川区小山 東京浴場



フィルムコミッション事業

立山あおく特等席。富山市

●フィルムコミッションの設立

市のイメージアップや経済効果を期待し、6月2日に「富山フィルムコミッション」を設立。市内延べ322ヶ所を調査し、「全国ロケーションデータベース」に60ヶ所を登録した。現在、ホームページを開設し登録箇所の拡大を進めている。

RAILWAYS



人生を鉄道になぞらえて描く「RAILWAYS」シリーズの第2弾「レイルウェイズ～愛を伝えられない大人たちへ～」では、制作費の一部を出資。（自治体としては全国初）

自然

ロケ地

「富山やくぜん」について

立山あおく特等席。富山市

●「富山やくぜん」の認定

300有余年の歴史を有する「富山のくすり」の伝統を活かし、富山の食材や健康に良いとされる食材などを使い、安心・安全にも配慮するなど認定基準を満たす料理を、「富山やくぜん」として認定し、「くすりのまち富山」のイメージアップ並びに観光客の誘致を図っています。



薬草の使用にこだわらず、健康に良いもので美味しいものを中心として選定（現在43品目 ※24.3現在）

くすり

食

ガラスの街とやま①

立山あおく特等席。富山市

富山市ではガラス工芸をテーマとした政策をまちづくりの柱のひとつとして、人材の育成、産業化の推進、芸術の振興を図っています。

人材の育成

富山ガラス造形研究所



ガラス造形に関する専門的知識及び技術の学習によりガラス造形制作者として有能な人材を育成。

産業化の推進

越壁（コシノアオ）



越壁器（コシノヒスイ）

越壁（コシノアオ）等の新色素材ガラスを研究開発することにより、地域産業化を推進。

芸術の振興



現代ガラス大賞展・富山2011
大賞作品

優れたガラス美術を紹介する展覧会を開催することにより、ガラス芸術の振興を推進。



新ガラス工房が平成24年度にオープン予定

(完成イメージ図)

ガラス

ガラスの街とやま②

立山あおく特等席。富山市

●富山のガラスと食の味わい事業

市内で活躍しているガラス造形作家が制作したガラス製品を、飲食店の食器として使用してもらい、お客さんに富山の食とガラスの両方を堪能してもらうもの。

平成23年度は11店舗と11人のガラス作家がコラボレーション



ガラスの器で食の味わいを
富山の夜に食とガラスアートで彩りを

食

ガラス

“選ばれるまち”富山市へ

立山あおく特等峠。富山市

都市の総合力を高めるとともに、魅力的な都市像を発信(シティプロモーション)し、市内外の多くの方から“選ばれるまち”を目指します！

総合力の高いまちづくり

福祉 教育 文化 雇用 環境 防災等





「環境未来都市」構想とは ～新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)～ 

《21世紀の日本の復活に向けた21の国家戦略プロジェクト》

「環境未来都市」構想

未来に向けた技術やまちづくりで世界トップクラスの成功事例を生み出し、
 国内外への普及展開を図る「環境未来都市」を創設する

関連予算を集中し、規制改革等を含めた徹底的な支援を行うとともに、
 都市全体を輸出パッケージとして、アジア諸国との政府間提携を進める



FUTURE CITY TOYAMA

「環境未来都市」構想とは ～趣旨～



新成長戦略(平成22年6月閣議決定)に基づき、
○特定の都市・地域において、未来に向けた技術やまちづくりで世界に類のない
成功事例を創出するとともに、成功事例を**国内外に普及展開**
→ 需要拡大、雇用創出、国際的課題解決力の強化

社会経済システムイノベーション実現による地域活性化
＜環境・超高齢化対応・国際化＞

国民一人一人誰もが豊かで快適に、
元気に暮らすことができる
持続可能な経済社会の実現



FUTURE CITY TOYAMA

「環境未来都市」構想とは ～基本コンセプト～



環境・超高齢化対応等に向けた 人間中心の新たな価値を創造する都市

- ① 「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現
- ② 人、もの、金が集まり、自律的に発展できる**持続可能な社会経済システムの構築**
- ③ ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の充実等による社会的連帯感の回復
- ④ 人々の生活の質を向上させることが究極的な目的



FUTURE CITY TOYAMA

提案内容 ～概要～



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築 ～ ソーシャルキャピタルあふれる持続可能な付加価値創造都市を目指して～

<地方都市の現状と課題>

人口減少、超高齢化、厳しい財政運営、維持管理費等行政コストの増大 etc

富山市は、これらに対応できる**地方都市の1つの未来像を提示**

1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

中心市街地の活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である菓業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など

サステナブル(持続可能)な都市を創出することにより、
「誰もが暮らしたいまち」・「誰もが活力あるまち」を実現

FUTURE CITY TOYAMA

提案内容 ～目指すべき将来像(2050年の姿)～



[都市のかたち]

- 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

▶ 効率的な都市経営の実現
(サステナブルな地方都市の創出)

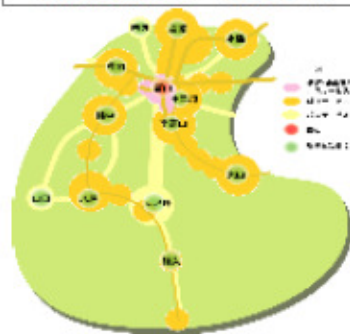
[市民生活]

- 都市機能が近くにある利便性の高い生活
- 歩いて暮らせる人間中心の快適なまち
- スローライフの場としての農山村の暮らし

[産業活動]

- 国際競争力ある菓都とやま
- 自然特性を活かした再生可能エネルギー型産業の振興

富山市が目指す都市のかたち
～公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり～



富山市が目指す「歩とバス」の都市構造
①一定距離以上のサービスレベルの公共交通
沿線②歩で結ばれた農山村

▶▶▶ 国内外のモデルとして確立、普及している

FUTURE CITY TOYAMA

選定(平成23年12月22日)



環境未来都市評価・調査検討会等の審査を経て、計11の都市・地域を「環境未来都市」に選定（計30の都市・地域から応募）

被災地域以外（5都市・地域）

○北海道下川町 ○千葉県柏市など ○神奈川県横浜市 ○**富山県富山市**
○福岡県北九州市

被災地域（6都市・地域）

○岩手県大船渡市など ○岩手県釜石市
○宮城県岩沼市 ○宮城県東松島市
○福島県南相馬市 ○福島県新地町



FUTURE CITY TOYAMA

選定(平成23年12月22日)



選定理由

LRTなどの公共交通を核としてコンパクトシティを目指す戦略的な提案であり、地方都市の抱える課題の解決モデルになり得る

評価視点

<一次評価>
コンセプトとの整合性
取組内容の具体性

<二次評価>
将来ビジョン
取組内容
体制

<三次評価>
持続可能な経済社会の実現への寄与



FUTURE CITY TOYAMA

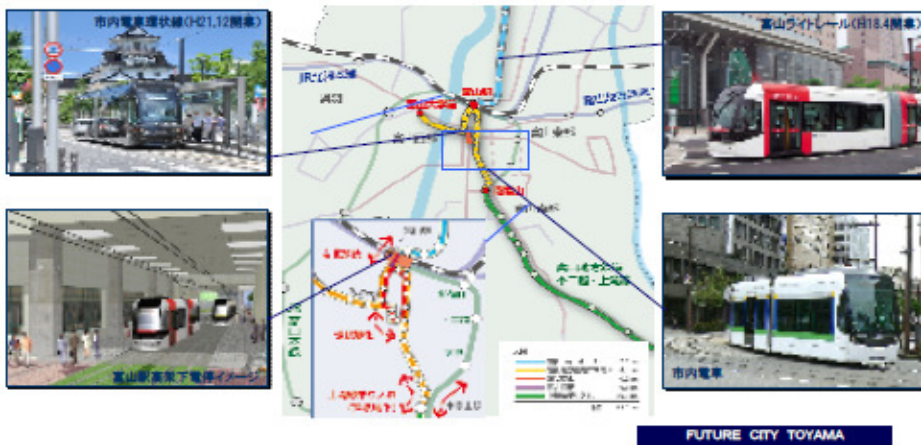
将来像の実現に向けた主な取組内容(全15事業)



取組内容 ～LRTネットワークの形成～



富山駅の鉄道路線高架下において、富山ライトレールと市内電車の南北接続を行う。また、南富山駅における市内電車の上滝線への乗り入れ検討や市内電車環状線への新たな停留所の設置等を行い、利便性の高いLRTネットワークを構築する



取組内容 ～LRTネットワークの形成～



富山ライトレールと市内電車の接続(富山駅南口駅前広場全景)

平成26年度末 北陸新幹線開業
数年後の北陸本線等の高架化を踏まえ、
南北のLRT(富山ライトレール・市内電車環状線)を接続

世界に類を見ない、新幹線と平面LRTの接続を計画



FUTURE CITY TOYAMA

富山駅南口駅前広場全景



取組内容 ～セーフ&環境スマートモデル街区の整備～



公共交通沿線の低未利用地等において、環境に優しく、安全・安心で快適な生活を楽しむことができるモデル街区を整備し、公共交通沿線での利便性の高い暮らしや環境等に配慮した質の高い住宅供給の促進を図る



FUTURE CITY TOYAMA

取組内容 ～再生可能エネルギーを活用した農業活性化～



農業用水を活用した小水力発電施設を整備し、その発電電力を農業に幅広く活用（施設への電力供給、EVの導入等）することで農山村を活性化し、自立型の自給モデルを確立する



FUTURE CITY TOYAMA

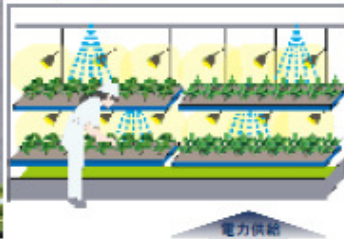
取組内容 ～薬都とやま薬用植物栽培工場の構築～



薬業の集積を活用し、「植物工場」の発展型として、最先端のバイオ技術生産管理システムや再生可能エネルギーを導入した薬用植物生産システムを構築する



提供：鹿島建設、筑波高専研、千葉大学

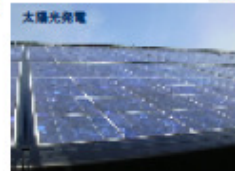


伝統的産業の復活による地域の活性化

再生可能エネルギーの活用

薬用植物生産の高度化

電力供給



太陽光発電



小水力発電

FUTURE CITY TOYAMA

取組内容 ～ヘルシー&交流タウンの形成～



中心市街地にある介護予防施設を核として、高齢者等が、安全・安心・快適に生活できる歩行者ネットワークを形成し、高齢者の外出・交流機会の充実等を図る



広場

歩行者ネットワーク



公園

角川介護予防センター(H23.7開業)
温熱療法・陸上運動療法・パーソナルケア



病院



スポーツ交流拠点

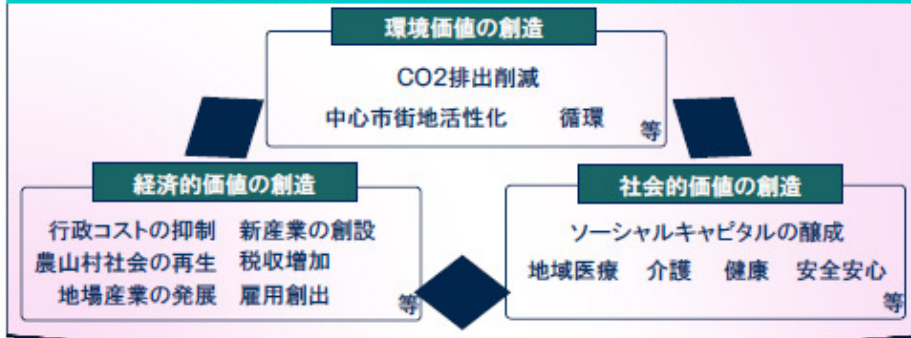
歩行者ネットワーク

FUTURE CITY TOYAMA

ソーシャルキャピタルあふれる持続可能な付加価値創造都市を目指して



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築



環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

生活の質と環境が調和した「満足度の高い暮らし」の創生により、**持続型社会を実現**

FUTURE CITY TOYAMA

<参考資料> ③開催風景

[討議風景]



[発表風景]



[投票風景]



[会場風景]



＜参考資料＞ ④新聞掲載記事

【北日本新聞 2012年6月17日 掲載】

まちの魅力発信へ討議

富山 20～70代の50人参加



市民の意見を富山市政に生かす「とらまほび」の市民討議会（O12）が16日、同市の富山国際会議場で始まり、20～70代の市民が富山の魅力を広める方法を話し合った。17日まで、討議会は同市富山青年会議所（石崎大誠理事長）が2年前から行っている。今回は住民基本台帳から無作為抽出した千人に招待状を発送、参加希望者のうち抽選で選ばれた50人が、半数ずつ2日間に分かれて議論する。

初日は参加者が五つのグループで話し合った。富山の魅力を全国に発信する方法について「アンテナショップを増やす」「風外を走るトラックやバスにラッピング広告を施す」などのアイデアが出された。「まちめぐりに関しては幅広い年代を対象としたにぎわい創出事業を進める必要がある」という意見があった。

17日も同じテーマで議論する。意見は提言書として市に提出するほか、市のホームページに掲載する。

【富山新聞 2012年6月17日 掲載】

富山の魅力 発信考える

市民討議会
富山市と富山青年会議所
富山国際会議場

「あなたの街を届けませんか？」は16日、富山市の富山国際会議場で開かれた。市民の意見を富山市政に生かす「とらまほび」の市民討議会（O12）が16日、同市の富山国際会議場で始まり、20～70代の市民が富山の魅力を広める方法を話し合った。17日まで、討議会は同市富山青年会議所（石崎大誠理事長）が2年前から行っている。今回は住民基本台帳から無作為抽出した千人に招待状を発送、参加希望者のうち抽選で選ばれた50人が、半数ずつ2日間に分かれて議論する。

初日は参加者が五つのグループで話し合った。富山の魅力を全国に発信する方法について「アンテナショップを増やす」「風外を走るトラックやバスにラッピング広告を施す」などのアイデアが出された。「まちめぐりに関しては幅広い年代を対象としたにぎわい創出事業を進める必要がある」という意見があった。

17日も同じテーマで議論する。意見は提言書として市に提出するほか、市のホームページに掲載する。